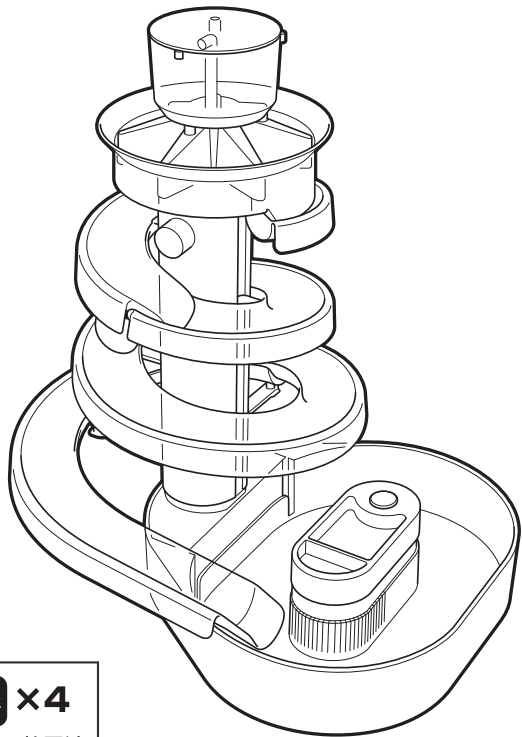


大人の流しそうめん

取扱説明書

KWS-B1

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この製品は家庭用です。本書に書かれていること以外に使用しないでください。また、業務用としてのご使用はしないでください。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともしつても見られるように大切に保存してください。



単2形 × 4
単2形アルカリ乾電池
4本使用(別売り)

組み立てかた 裏面にあります

D200826

アフターサービスについて

●製品の保証について

- この製品には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げの日から6ヶ月間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理は販売店またはお客様相談室にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは

- 故障のときは、ただちに使用をやめて、乾電池を取り出し、お買い上げの販売店にこの製品をお持ち込みのうえ修理をお願いします。またはお客様相談室にお問い合わせください。
- ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

●補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後2年間です。

お客様サポート
https://www.do-cooking.com/support/

お電話でのお問い合わせはお待ちさせる場合がございます。また、お客様相談室より担当部署におつなぎいたしますのでお調べまでにお時間を頂戴しております。インターネットをご利用いただく方がご案内できますので、インターネット環境をお持ちのお客様は上記QRコードもしくは、URLからご利用ください。

製品情報に関するお問い合わせ	よくあるご質問
製品・パーツ購入のご案内 ※製品によっては、パーツ販売をしております。	お客様の声(アンケート)

【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お戻付の点がございますら、ご使用に際し、弊社お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 ドウシヤ www.doshisha.co.jp

お客様相談室 0120-104-481

【受付時間】9:00～17:00 祝日以外のみ

※製品、型番をご確認の上、お電話を下さいますようお願い致します。
※お電話を頂いた際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させて頂きまますので、ご了承ください。

【修理品の送付先】

〒556-0023
大阪市浪速区稲荷1-6
株式会社ドウシヤ
サービスセンター

安全上のご注意

- 警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 - 乾電池を傷つけたり、破損させたり、無理に変形させたり、加工したり(ショート)、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。感電や発熱・火災の原因になります。
 - 湿度の高いところ、温度や気圧が低いところ、火気があるところ、直射日光があたるところで使用・保存はしない。故障や変形の原因になります。本製品だけでなく、乾電池にも悪影響があります。
 - 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。けが・やけど・感電の原因になります。
 - 本製品のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。感電・けがの原因になります。
 - 本製品内部に指を入れない。けが・故障の原因になります。
 - 異常時(こげ臭い、発煙など)は、使用を停止し、乾電池を抜く。感電・火災の原因になります。
 - 本製品に強い衝撃を与えない。本製品を踏んだり投げたり落としたりしない。故障・破損の原因になります。
- 支柱、水流発生器に水をかけたりしてめらさない。水洗いしない。乾電池や電気関係に水や油のかけやすいところでは使用しない。感電・ショートの原因になります。
- 本書に書かれている以外の分解はしない。また、修理技術者以外の人は修理しない。感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはお客様相談室にご相談ください。
- ぬれた手で、乾電池にふれたり、出し入れしない。水流スイッチにふれない。感電の原因になります。
- 乾電池から漏れた液が目に入ったときはこすらずに水で洗い流し、医師の治療を受ける。失明や目に障害を負う恐れがあります。
- 煙が出たり、臭異、異音がしたら、すぐに電源を切って使用を中止する。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険があります。お客様相談室へご連絡ください。
- 使用しないときは乾電池をはずす。故障、液漏れの原因になります。

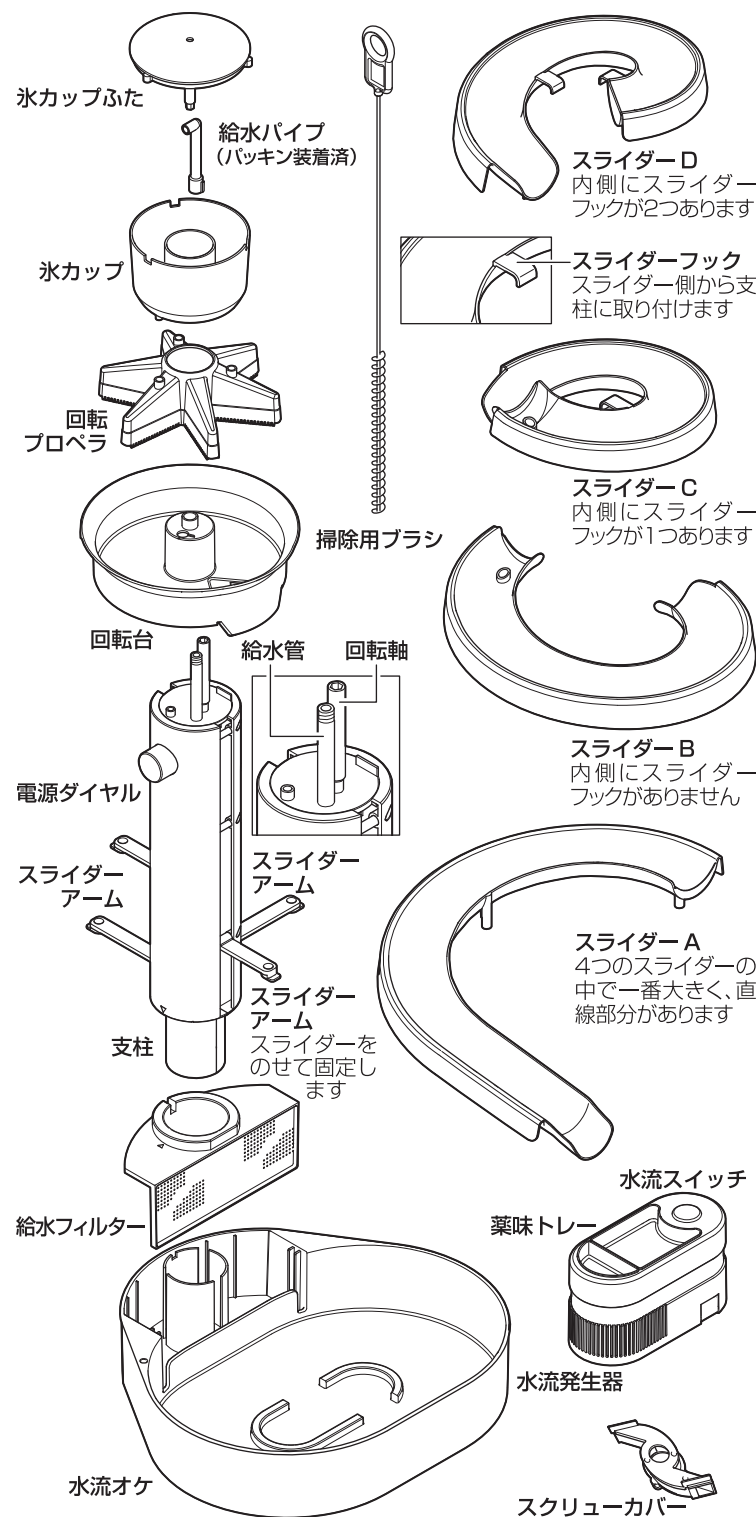
注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 変形や破損のあるときは、使用しない。感電や火災の原因になります。
- テーブルの端などに設置しない。落下して故障やけがをする原因になります。
- お手入れのときは住宅用洗剤・アルコール・シンナー・ベンジン・磨き粉・金属たわしなどを使わない。変形・破損の原因になります。
- オレンジライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。変色、変形の原因になります。
- 乾電池の種類や新旧の乾電池を混ぜて使用しない。使用推奨期限を越えて使用しない。故障や火災、液漏れの原因になります。
- 水・そうめん以外のものを流さない。他のものを流すと、故障の原因になります。
- 流しそうめん以外の用途では使用しない。
- 熱湯を使用しない。食洗機・食器乾燥機を使用しない。変形の原因になります。煮沸消毒はできません。
- MAX線を越えて水を入れない。大量のそうめんを流さない。水があふれる原因になります。
- 使用中は本製品を持ち上げたり、移動したりしない。
- ゆですぎたそうめんは流さない。流し続けたそうめんは引き上げる。ふやけたそうめんは、浮力がなくなり底に沈み、詰まりの原因になります。
- 鉄製の「はし」などを使用しない。本製品に傷をつけてしまい、不衛生になる原因になります。
- 水がまわりに飛び散ることがあるので、水に弱いものを周りに置いて使用しない。
- 使用中は本製品から離れない。
- 初めて使用するとき・使用する前は、水洗いできるパーツを十分に洗う。お手入れしておかないと衛生的に健康に悪影響を及ぼす原因になります。
- 乾電池の極性(⊕/⊖)は正しく入れる。故障、液漏れの原因になります。
- 可動部分の隙間に指や髪の毛や衣類などをはさまれないようにする。
- 使用後は十分お手入れする。お手入れしておかないと衛生的に健康に悪影響を及ぼす原因になります。
- 水流オケの水を捨てるときは気を付ける。水の入った水流オケはかなりの重量になりますので、十分にご注意ください。

仕様	
型名	KWS-B1
重量	約2.1kg(乾電池除く)
電源	単2形アルカリ乾電池×4本(別売)
連続使用時間(目安)	約1時間
材質	ABS樹脂、シリコンゴム
外形寸法(組み立て後)	(約)W470×D355×H450(mm)

●仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
●この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

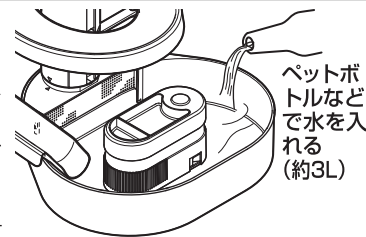
各部名称



正しい使いかた

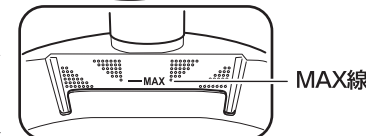
準備

- 水流オケに、ペットボトルなどで水を入れてください。給水フィルターにあるMAX線を超えないようにしてください。



注意

- 水以外のもの、お湯を入れると変形・故障の原因になります。
- 水が少ないと、ポンプが異音を発生し、故障の原因になります。適度に給水してください。



- 氷カップふたを取りはずし、氷カップに2cm角ぐらいの小さい氷を氷カップふたがしまる程度に入れて、再度氷カップふたを取り付けてください。氷カップふたが正しく取り付けられないと、回転プロペラは回りません。

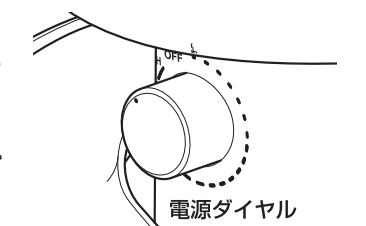


注意

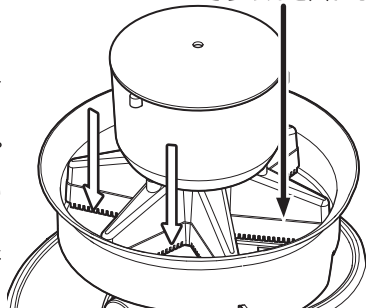
- 氷カップと水流オケ以外の場所に氷を入れないでください。
- 氷を追加するなど、再度氷カップふたを開くときは、必ず電源ダイヤルを回して電源を切ったからにしてください。水が周りに流れ出す原因になります。

使いかた

- 水流発生器の水流スイッチを押して水流を発生させてください。
- 電源ダイヤルを回して、ポンプを稼働させて、回転プロペラの回転を調節してください。水流オケの水が、給水フィルター・支柱を通して、給水パイプから水が出てきます。電源ダイヤルを回すことにより、回転プロペラの回転速度を調節することができます。
- 水流が整ってきたら、回転プロペラの間にならぬようにそうめんを入れてください。



この線を超えないようにそうめんを入れる



注意

- そうめんを使用せず水だけを流すと、まわりに飛び散る可能性があるため、必ずそうめんを流しながらご使用ください。
- そうめんを入らずに流すと、故障の原因になります。
- 万が一水を吸い上げない場合は、一旦電源を切って5分程度時間を置いてから電源を入れてください。
- 氷を追加するなど、再度氷カップふたを開くときは、必ず電源ダイヤルを回して電源を切ったからにしてください。水がまわりに流れ出す原因になります。
- 水流オケにたくさんのおそうめんがたまると、水があふれたり、回転しにくくなりますのでご注意ください。
- ゆで過ぎや、ゆでたから時間が経過したもの、長時間水流オケの中で回したそうめんは、スライダーで流れなくなったり、浮力がなくなり底に沈み、詰まりの原因になります。

お手入れのしかた

- 使用後は分解し、支柱と水流発生器以外をすべて洗って乾燥させてください。
注意
 - 住宅用洗剤・アルコール・シンナー・ベンジン・磨き粉・金属たわしなどは使用しないでください。
 - 本製品は煮沸しないでください。
 - 食器用洗浄機、食器用乾燥機は使用しないでください。
- 付属の掃除用ブラシを使用して、支柱の給水管を掃除してください。※①
給水管に上から掃除用ブラシを入れて掃除します。掃除後、給水管に給水パイプを取り付け、支柱の底面をきれいな水に浸けてください。給水パイプを水が出てもいい方向に向けてから電源ダイヤルを回して電源を入れ、給水パイプから水が出たらすぐ電源を切ってください。※② その後、水を抜いてよく乾燥させてください。
※電源ダイヤルや乾電池カバーまわりに水がかからないようにご注意ください。
※給水パイプには掃除用ブラシを使用しないでください。パッキンが外れる原因になります。

注意

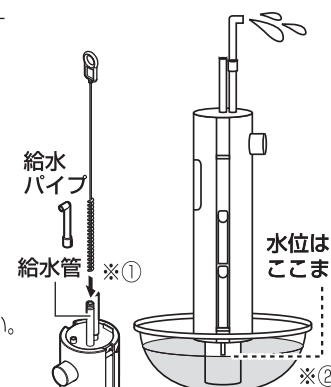
給水パイプから勢いよく水が出ますので十分にご注意ください。

- 支柱と水流発生器も、濡れたタオルをよく絞って水に浸かる部分を拭き掃除してください。スクリューに糸などがからまっていることがありますので、ていねいに取り除いておいてください。※水流スイッチや乾電池カバーに水がかからないようにご注意ください。

- 各部品の紛失に気を付けて保存してください。長期間ご使用にならないときは、必ず完全に乾いてから、箱へ入れて湿気のないところへ保存してください。

注意

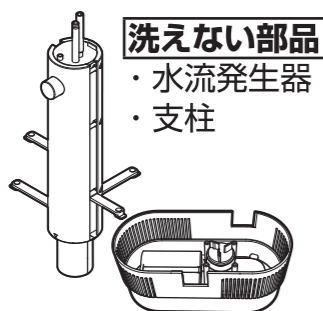
長期間使用しないときは、乾電池をはずしてください。故障、液漏れの原因になります。



準備

準備1 部品を洗う

食べものにふれるものなので、洗うことができない水流発生器・支柱部分以外は組み立て前に、すべてきれいに洗ってください。
※水流発生器に取り付けてある、薬味トレーやスクリューカバーは取りはずして洗うことができます。
※洗えない部品も、よくしぼったふきんなどで水拭きしてください。
洗ったあとは十分に乾燥させてからお使いください。



洗えない部品
・水流発生器
・支柱

準備2 乾電池を入れる

組み立て前に、支柱と水流発生器に乾電池を入れておきます。水流発生器は水に浸かるので使用開始後に安全に電池交換をすることは難しくなります。

支柱と水流発生器に乾電池を入れる

1. 乾電池カバーのつまみを押し、乾電池カバーを取りはずします①。

△注意

乾電池を取りはずすときは、ツメなどで無理に行なうとけがの原因となります。

2. 単2形アルカリ乾電池2本(別売)を、底面に刻印されている極性⊕ ⊖を確認して取り付けください②。

パネのある側が⊖です。

△注意

・乾電池取り付け部分の奥にホコリやゴミ、水分が入らないようにしてください。
・アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
・新旧の乾電池、銘柄や種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。

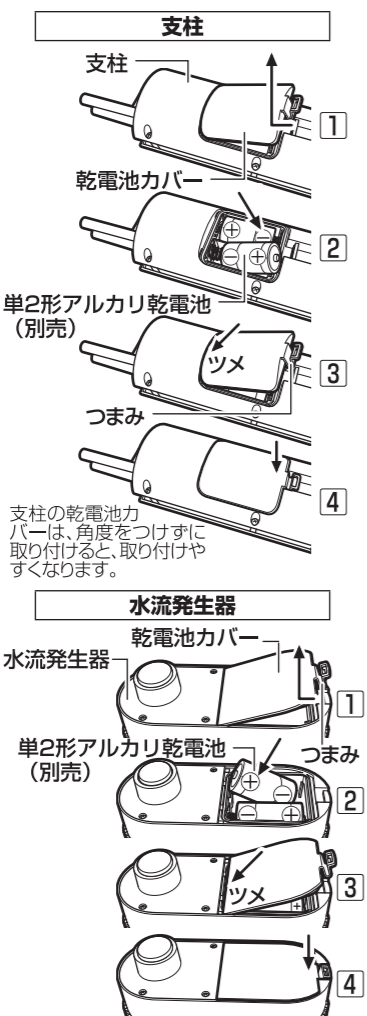
・極性⊕ ⊖は正しく取り付けください。
・使用しないときは、乾電池を取りはずしてください。
・濡れた手で乾電池の出し入れをしないでください。
・製品は単2形専用です。単2形アダプターケースを使用しないでください。

3. 乾電池カバーを取りはずしたときと逆の手順で取り付けください③④。

乾電池カバーのツメ側から本体に取り付け③、つまみ部分を本体側に押し付けて取り付けください④。

△注意

使用しないときは、乾電池を取りはずしてください。

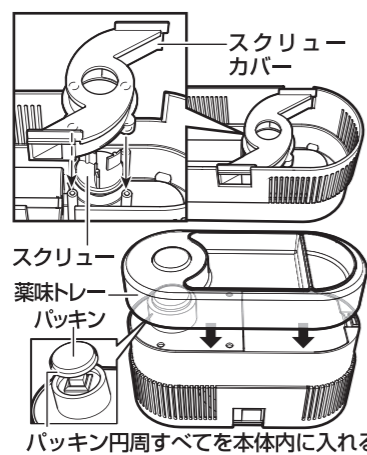


準備3 水流発生器を準備する

1. 水流発生器の底部にあるスクリューに、スクリューカバーを取り付けてください。

2. 水流スイッチのパッキンを確認し、薬味トレーを取り付けておきます。

水流スイッチには黒色のパッキンが取り付けられています。円周すべて本体内に入っている状態であるかどうか、確認してください。



パッキン円周すべてを本体内に入れる

組み立てかた

組み立て1 水流オケの設置・支柱の取り付け

本製品を設置・使用するには以下のような場所を選んでください。

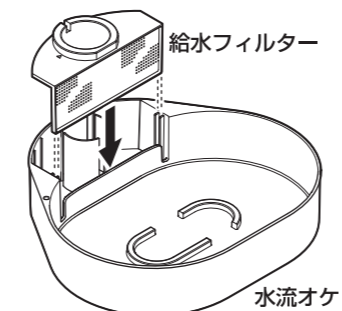
- ・水の重さに耐えられる、安定性のある場所を選ぶ
- ・水が流れるように・回るように、水平な場所を選ぶ
- ・水が飛び散っても問題ない場所、または大きなナイロンや耐水シートなどを敷いて対応する
- ・一番上の回転台にそうめんを容易にのせられる高さ

設置後移動することはしないでください。

1. 水流オケを設置場所に設置し、給水フィルターを取り付けてください。

△注意

設置後、すべて組み立ててから移動させることはできませんので、流しそうめんを楽しむ状態を想定して設置してください。



支柱の取り付け

2. 水流オケに支柱を取り付けてください。

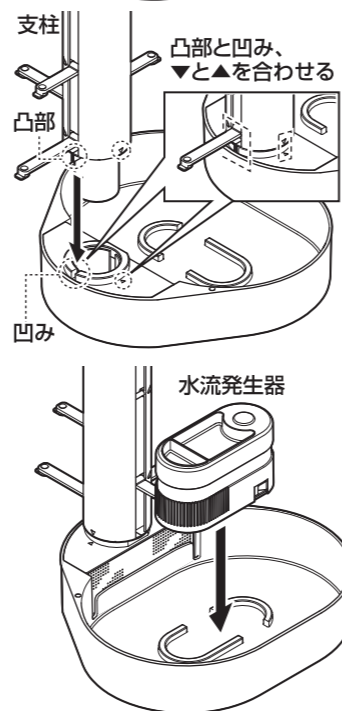
支柱の側面にあるスライダアーム(4本)を開いておいてください。
水流オケの後側から見ると給水フィルターに凹みがあり、そこに支柱の凸部を組み合わせるように取り付けます。
・支柱の横にある▼と給水フィルターの▲を組み合わせることで取り付けすることもできます。

△注意

支柱と水流オケの取り付けは、他の部分の取り付けに影響しますので、他のものをはさんだりしないように注意し、確実に取り付けてください。

3. 水流オケの底面の凸凹に合わせて水流発生器を設置してください。

向かって右側に水流スイッチがくるように取り付けます。



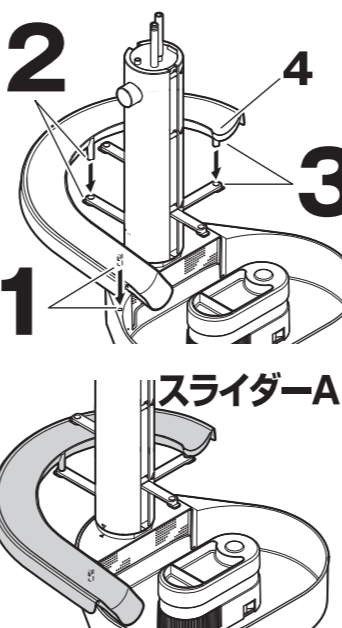
組み立て2 スライダー・回転台の取り付け

水流オケ・支柱にスライダーを取り付けていきます。スライダーとスライダアーム、水流オケなど取り付け場所に数字が刻印されており、番号順に同じ番号を合わせて取り付けてください。

スライダーA 1～3

1. スライダーA(一番大きいスライダー)を番号に合わせて取り付けてください。

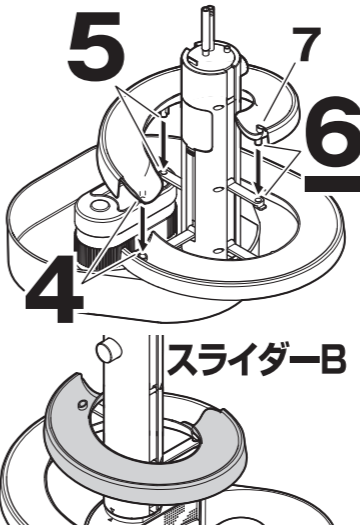
スライダーアームや水流オケなどには、スライダーを取り付ける凹み部分に番号があります。スライダーAには1～4があります。水流オケ左側に1、スライダーアームの下から順に2、3があり、番号順に番号を合わせて取り付けてください。
※4はスライダーBの取り付けに使用します。



スライダーB 4～6

2. スライダーBを番号に合わせて取り付けてください。

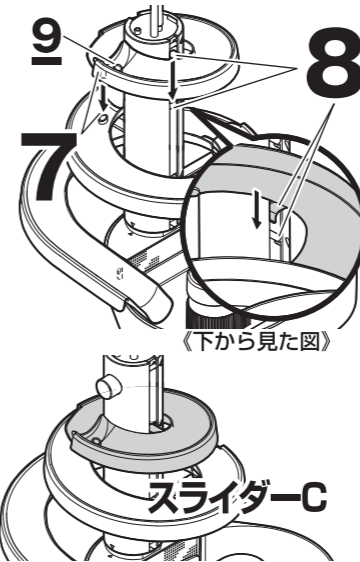
スライダーBには4～7があります。4～6まで番号順に番号を合わせて取り付けてください。
※7はスライダーCの取り付けに使用します。



スライダーC 7～8

3. スライダーCを番号に合わせて取り付けてください。

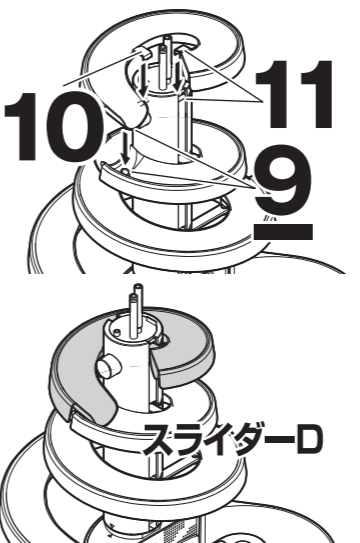
スライダーCには7～9があり、7～8まで番号順に番号を合わせて取り付けてください。
8は「スライダーフック」です。支柱にある棒に引っかけるように取り付けてください。
※9はスライダーDの取り付けに使用します。



スライダーD 9～11

4. スライダーDを番号に合わせて取り付けてください。

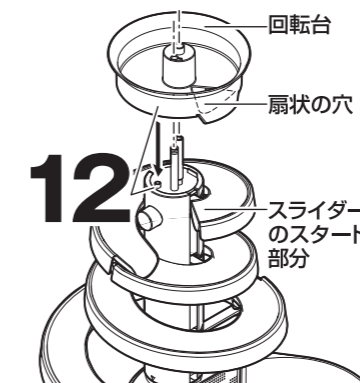
スライダーDには9～11があり、9～10まで番号順に番号を合わせて取り付けてください。
10・11は「スライダーフック」です。支柱にある棒に引っかけるように取り付けてください。



回転台 12

5. 回転台を支柱の一番上の12番の突起に合わせて取り付けてください。

回転台の底部にある凹み12と、支柱の上にある突起12を合わせて取り付けてください。回転台にある扇状の穴が、スライダーDの端(スライダーのスタート部分)の上にあります。



組み立て3 回転台より上の取り付け

回転台より上の部品を取り付けていきます。それぞれ部品ごとに番号が刻印されており、番号順に取り付けてください。

給水パイプ 13

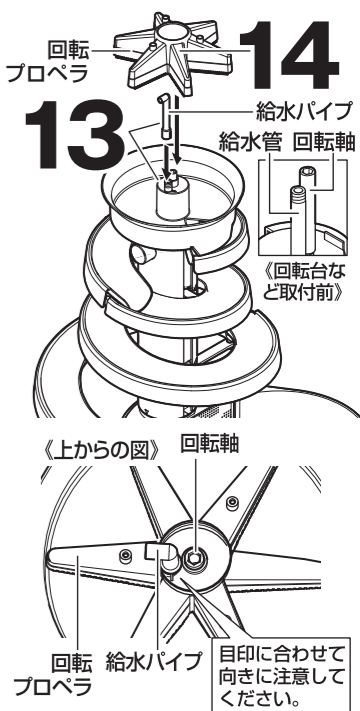
6. 支柱の一番上にある短い側の管・給水管に、給水パイプを取り付けてください。

支柱の上にある給水管に、切り欠きを合わせて、給水パイプを奥までしっかりと取り付けてください。

給水パイプを取り付ける13は、ネジ形状で、正しく取り付け、給水パイプは電源ダイヤル側に向けます。

△注意

給水パイプの向きに注意し、しっかりとめてください。水もれの原因になります。



回転プロペラ 14

7. 回転台の上に回転プロペラをのせてください。

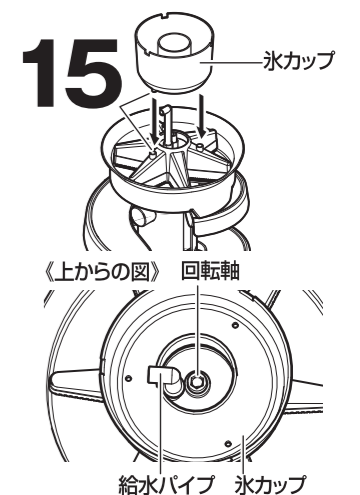
△注意

正しく取り付けないとうまく回らない場合があります。

氷カップ 15

8. 回転プロペラの上に氷カップを取り付けてください。

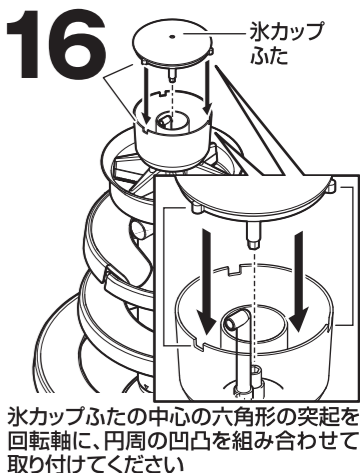
回転プロペラにある3つの凸部に、氷カップの下部の3つの穴を取り付けてください。



氷カップふた 16

9. 氷カップの上に氷カップふたを取り付けてください。

支柱の中心部にある回転軸に、氷カップふた中心部の六角形の突起を取り付けてください。取り付けるときは、氷カップの円周にある3つ凹みと氷カップふたの円周にある3つの突起を組み合わせるようにして取り付けてください。
組み立て終了です



△注意

組み立て後、使用する前に、必ず取り付け・接合部がきちんと取り付けられているか確認してください。接合部にすき間があったり、取り付けがゆるいと、使用中にはずれて、事故の原因になります。